

人権の花球根贈呈 (10.16)

2名の人権擁護委員さんにお越しいただき、「人権の花」球根贈呈式を行いました。お二人から、「困っていることや悩んでいることがあったら誰かに相談することが大事」という話をしてくださったり、「自分の大切にできる温かい言葉」の紹介してくださったりしました。子ども達は、真剣なまなざしでお話を聞いていました。



校長先生のお話

人権とは、みんなが生まれたときから持っている権利。人やものを大切にし、人権を守れる人になってほしいです。一人一人が大切にされ、誰もが同じように自由に生きていく。そういうことを思い、花を育て、命を大切にできる人になったほしいです。



人権擁護委員さんのお話

人権擁護委員は、困っている人(大人でも子どもでも)の相談相手になっています。みんなも悩んだときには誰かに話をしたいと思うでしょ。悩んでいる人のお話を聞いて、いい方法を一緒に考えています。みんなの周りには、いつでも相談にのってくれる人がいることを覚えておいてください。



人権擁護委員さんのお話

いろいろな経験をして、いろいろな人の話を聞いて、そして自分で判断していきましょう。同じ考えの人もあるし、違う考えの人もある。どちらの人の考えも大事にしていきましょう。

元気の出る温かい言葉をいただきました

失敗は成功の途中だね

恥と失敗
恐れりゃだめだよ

つづけていれば
いつかできるよ

人生良いほうに
考えよう



ヒヤシンスの球根と記念品が全校児童に贈呈されました。



児童代表がお礼の言葉を伝えました。

失敗しても大丈夫。あせらず、あきらめずにやっといこう！